

久永 日記

大府市の日本共産党・久永かずえ市議会議員が、折々の思いを綴り、「日本共産党大府東後援会」のニュース（年に4回発行）に連載しています。ご希望の方には「後援会ニュース」をお届けします。ぜひ、ご覧ください。

▽以下は、2023年10月に発行された「後援会ニュース」
2023年秋号」に掲載したものです。

「苦難の軽減」が原点



日本共産党は、全国の各自治体に議員や党員がいることで、互いに連携することができます。

ある日の深夜のこと、「所持金がなくて困っている、という方が今、大府市にいる」と県内・他市の共産党議員から連絡が入りました。安否を確認し、次の日に生活保護の申請に同好して、取り敢えず住む場所と食事を確保しました。相談を受けた場合は、可能な限り相談者が直接、要求等を伝えることを大事にしています。もちろん、私も一緒に考え、必要に応じて市役所や警察署の窓口へ同行しています。

この間、「市営住宅の修繕や鳥のフン被害の対策への要望」「不登校児童・生徒の学びの保障についての要望」「横断歩道の設置など通学路の安全対策への要望」「不適切保育への対応」などの相談がありました。すぐに解決できないものについては、共産党の政策として議会で取り上げたり、署名活動にっ
なげたりしています。

「どこに相談したらよいのか分からなかった」という方もいます。「苦難軽減」は、創立100年目を迎えた日本共産党の原点です。そして、私の議員としての原点でもあります。

人とつながり支えるため、そして今の政治を変えるために、あなたもぜひ、私たちと一緒に活動しませんか。

